

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 6 年 6 月 30 日	市所管部署	石巻市 教育委員会生涯学習課
-------	-----------------	-------	----------------

2 法人名称等

法人名称	公益財団法人石巻市芸術文化振興財団	設立目的・経過 目的：芸術文化事業を展開することにより、広く芸術文化および地域社会の発展に寄与する。 経過：H1 法人設立、市民会館・明芳館・友心館を管理受託 H8文化センターを管理受託 H16スポーツ振興財団と統合 H18～H23市民会館、文化センターの指定管理者 H26～H31河北総合センター、遊楽館の指定管理者 H31～R3河北総合センター、遊楽館の指定管理者 R2～R6複合文化施設の指定管理者 R3～R6河北総合センター、遊楽館の指定管理者
法人所在地	石巻市 成田字小塚裏畑 5 4	
設立年月日	平成 元 年 2 月 22 日	
代表者職・氏名	理事長 大谷尚文	

3 定款上の事業内容

(1) 芸術文化活動の普及に関する事業
(2) コミュニティ活動の促進及び支援に関する事業
(3) 芸術文化活動及びコミュニティ活動の推進を目的とした公共施設での管理運営に関する事業
(4) その他、目的を達成するために必要な事業
(5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
121,152 千円	100,000 千円	82.5 %	個人	1,000 千円	0.8 %
			個人	50 千円	0.0 %
				千円	0.0 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R3期末	R4期末	R5期末
常勤	1	1	0
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	0	0
非常勤	10	11	10
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	1	2	0
計	11	12	10
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	0

(2) 職員の状況

	R3期末	R4期末	R5期末
常勤	29	28	29
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
計	30	29	30
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

石巻市における芸術文化の普及振興と創造性豊かな市民生活を形成し、地域社会の発展に寄与する公益財団法人としての役割を果たす。
石巻市が公益事業の展開を目的に設立した財団の性格から、平成25年4月1日宮城県知事の認定を受け、公共性、公益性がより必要とされる「公益財団法人」に移行しての運営にあたっており、一層効果的な各種の事業を継続的且つ安定的に展開するため、地域や各関係機関との連携のもとに施設の管理運営と併せて質の高いサービス提供に努めている。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期
事業実施に係る総集客数	人	目標計画	13,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績	13,343	8,574			
目標・指標の説明			芸術文化活動の普及振興として位置付けている事業のうち、公演鑑賞事業、移動鑑賞事業、育成事業の総集客数				
目標未達の場合の要因分析			開館記念事業を実施した令和4年度までをベースに目標を設定したが、開館記念事業終了に伴う予算縮小に伴い、鑑賞型となる大型事業の開催が困難となったことから、財団独自の企画による市民参加等の投資型事業を多く取り入れる方向にシフトチェンジしたものの、全体的に事業規模が縮小したことで目標値に届かなかったと考えている。				

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
芸術文化の普及振興事業	開館記念事業実施期間終了に伴い、事業スケール縮小となったなか、共催公演を含めた質の高い鑑賞型事業のほか、独自企画による市民参加型事業に積極的に取り組み、市民の意識向上と地域文化の振興・普及に貢献できたと考え。	幅広い年代に対し、自らが参加し体験できる事業に数多く取り組み、いずれも定員を超える反響を得るとともに参加した方には満足いただけたと考えている。 今後も市民ニーズを反映させ興味を掘り起こす事業の企画・実施を進めるとともに、限りある予算の中で質の高い鑑賞事業の選定などにも注力する必要があると考えている。	コロナウィルスによる各種の制限により、事業実施に苦慮しながらも開館記念事業等の開催に努め、多くの市民に新たな施設のオープンを周知するとともに、地域の文化振興を図る目的を果たせたものと考えている。 今後も市民生活により定着し、必要とされる施設運営と事業展開を目指す。
事業の公共性、公益性	芸術文化活動の普及振興を図ることを目的に、高質な舞台芸術の鑑賞をはじめとし、市民が参加・体験できる事業を展開し、自主的な文化活動の契機を提供するとともに、交流による市民活動の活性化、地域の芸術文化の発展に寄与するものである。		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	公益財団法人石巻市芸術文化振興財団
------	-------------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	流動資産	91,211,765	91,747,251	535,486	143,414,282	51,667,031
	うち 現金・預金	88,403,746	83,241,224	▲ 5,162,522	142,718,041	59,476,817
	固定資産	146,636,236	141,847,065	▲ 4,789,171	138,732,577	▲ 3,114,488
	(1) 基本財産	121,131,800	121,140,000	8,200	121,152,250	12,250
	(2) 特定資産	25,375,190	20,629,659	▲ 4,745,531	17,550,441	▲ 3,079,218
	(3) その他の固定資産	129,246	77,406	▲ 51,840	29,886	▲ 47,520
	資産の合計	237,848,001	233,594,316	▲ 4,253,685	282,146,859	48,552,543
	貸方（科目）	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	流動負債	51,724,683	48,703,636	▲ 3,021,047	81,685,066	32,981,430
	うち 短期借入金	0	0	0	0	0
	固定負債	21,676,076	20,629,659	▲ 1,046,417	17,550,441	▲ 3,079,218
	うち 長期借入金	0	0	0	0	0
	負債合計	73,400,759	69,333,295	▲ 4,067,464	99,235,507	29,902,212
	正味財産	164,447,242	164,261,021	▲ 186,221	182,911,352	18,650,331
	指定正味財産	101,131,800	101,140,000	8,200	101,152,250	12,250
	うち 基本財産への充当額	101,131,800	101,140,000	8,200	101,152,250	12,250
	うち 特定資産への充当額	0	0	0	0	0
	一般正味財産	63,315,442	63,121,021	▲ 194,421	81,759,102	18,638,081
	うち 基本財産への充当額	20,000,000	20,000,000	0	20,000,000	0
	うち 特定資産への充当額	3,699,114	0	▲ 3,699,114	0	0
	負債・正味財産の合計	237,848,001	233,594,316	▲ 4,253,685	282,146,859	48,552,543

正味財産増減計算書	科目	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	一般正味財産増減の部	▲ 6,955,204	1,133,479	8,088,683	19,317,981	18,184,502
	経常増減の部	▲ 6,955,204	1,133,479	8,088,683	19,317,981	18,184,502
	経常収益	499,202,674	501,455,499	2,252,825	492,601,645	▲ 8,853,854
	経常費用	506,157,878	500,322,020	▲ 5,835,858	473,283,664	▲ 27,038,356
	評価損益等計	0	0	0	0	0
	経常外増減の部	0	0	0	0	0
	経常外収益	0	0	0	0	0
	経常外費用	0	0	0	0	0
	法人税、住民税及び事業税	274,200	1,327,900	1,053,700	679,900	▲ 648,000
	一般正味財産期首残高	70,544,846	63,315,442	▲ 7,229,404	63,121,021	▲ 194,421
	一般正味財産期末残高	63,315,442	63,121,021	▲ 194,421	81,759,102	18,638,081
	指定正味財産増減の部	8,180	8,200	20	12,250	4,050
	指定正味財産増減額	8,180	8,200	20	12,250	4,050
	指定正味財産期首残高	101,123,620	101,131,800	8,180	101,140,000	8,200
	指定正味財産期末残高	101,131,800	101,140,000	8,200	101,152,250	12,250
	正味財産期末残高	164,447,242	164,261,021	▲ 186,221	182,911,352	18,650,331

（※）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

キャッシュ・フロー計算書（C/S）	区分	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
	事業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,174,466	▲ 1,467,469	3,706,997	14,815,941	16,283,410
	事業活動収入	499,202,674	499,665,536	462,862	488,583,359	▲ 11,082,177
	基本財産運用収入	900,356	873,481	▲ 26,875	694,571	▲ 178,910
	特定資産運用収入	304	259	▲ 45	203	▲ 56
	事業収入	462,147,474	445,183,394	▲ 16,964,080	433,641,689	▲ 11,541,705
	利用料金収入	23,630,960	44,127,020	20,496,060	46,298,440	2,171,420
	補助金等収入	7,508,000	4,630,000	▲ 2,878,000	4,630,000	0
	寄付金収入	100,000	100,000	0	0	▲ 100,000
	雑収入	4,915,580	4,751,382	▲ 164,198	3,318,456	▲ 1,432,926
	事業活動支出	▲ 504,377,140	▲ 501,133,005	3,244,135	▲ 473,767,418	27,365,587
	事業費支出	▲ 485,254,374	▲ 476,508,799	8,745,575	▲ 446,235,955	30,272,844
	管理費支出	▲ 19,122,766	▲ 24,624,206	▲ 5,501,440	▲ 27,531,463	▲ 2,907,257
	投資活動によるキャッシュ・フロー	5,592,455	4,745,531	▲ 846,924	3,079,218	▲ 1,666,313
	投資活動収入	8,300,886	95,489,077	87,188,191	4,018,286	▲ 91,470,791
	基本財産取崩収入	0	90,000,000	90,000,000	0	▲ 90,000,000
	特定資産取崩収入	8,300,886	5,489,077	▲ 2,811,809	4,018,286	▲ 1,470,791
	投資活動支出	▲ 2,708,431	▲ 90,743,546	▲ 88,035,115	▲ 939,068	89,804,478
	基本財産取得支出	0	▲ 90,000,000	▲ 90,000,000	0	90,000,000
	特定資産取得支出	▲ 2,708,431	▲ 743,546	1,964,885	▲ 939,068	▲ 195,522
	その他固定資産取得支出	0	0	0	0	0
	財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0	0	0
	財務活動収入	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
	財務活動支出	0	0	0	0	0
				0		0
				0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	0	0	0	0
現金及び現金同等物の増減額		417,989	3,278,062	2,860,073	17,895,159	14,617,097
現金及び現金同等物期首残高		45,106,293	45,524,282	417,989	48,802,344	3,278,062
現金及び現金同等物期末残高		45,524,282	48,802,344	3,278,062	66,697,503	17,895,159

（※1）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。
（※2）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和3年度期	令和4年度期	前期増減	令和5年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	4,800,000	5,630,000	830,000	4,630,000	▲ 1,000,000
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）	4,800,000	5,630,000	830,000	4,630,000	▲ 1,000,000
委託料及び指定管理料	448,053,798	437,001,536	▲ 11,052,262	427,692,979	▲ 9,308,557
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

資産総額は前年比48,552,543円増の282,146,859円である。うち流動資産の前年比51,667,031円増の143,414,282円は芸術文化事業の公演規模縮小による費用の減額、人件費の減額等による利益と、年度終盤に実施した事業の委託料等経費及び指定管理受託事業に係る返納金が一時的に流動資産に計上されたことによる。

負債総額は前年比29,902,212円増の99,235,507円である。うち流動負債の前年比32,981,430円増は芸術文化事業に係る未払金、指定管理受託事業に係る返納金の預り金が増額したことによる。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
資産の部	流動資産	51,667,031円増	芸術文化事業の公演規模が、前年と比較し縮小したことによる費用の減額及び人件費の減額等による。
負債の部	流動負債	32,981,430円増	年度の終盤に芸術文化事業の実施があり、公演料等の未払金が発生したこと及び指定管理受託事業に係る返納金等の預り金が増額したことによる。
正味財産の部	一般正味財産	18,638,081円増	指定管理事業収益、受取利用料金の増額、人件費の減額による収益。

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

経常収益は、前年比8,853,854円減額の492,601,645円でありその主な要因は、前年度までの複合文化施設開館記念事業が終了したことによる芸術文化事業収益の減額（▲17,230,748円）によるもので、それに対し、指定管理事業収益（5,689,043円）、受取利用料金（2,171,420円）は増額となった。

経常費用は、前年比27,038,356円減額の473,283,664円であり、その主な要因は芸術文化事業の実施事業規模の縮小による費用の減額及び職員の退職、育児休業取得による人件費が減額したこと等によるものである。

その結果、一般正味財産期末残高は前年比18,638,081円増の81,759,102円となった。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
経常増減の部	経常収益	8,853,854円減	複合文化施設開館記念事業が終了したことによる芸術文化事業収益の減額による。
経常増減の部	経常費用	27,038,356円減	芸術文化事業の実施事業規模の縮小による費用の減額及び職員の退職、育児休業取得による人件費の減額による。
一般正味財産期末残高		18,638,081円増	指定管理事業収益、受取利用料金の増額、人件費の減額による収益。

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

事業活動収入については芸術文化事業収入の減額等により前年比11,082,177円減の488,583,359円となった。事業活動支出については、前年と比較し公演規模が縮小したため事業経費が減額した。また、職員の退職等による人件費の減額分により支出全体としては前年比27,365,587円減額の473,767,418円であった。

投資活動収入においては退職給付引当資産取崩収入が前年比2,228,323円増の4,018,286円、投資活動支出は退職給付引当資産取得支出が前年比195,522円増の939,068円であった。

その結果、17,895,159円を当期収支差額として現金及び現金同等物期末残高に計上している。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目	変動内容	変動要因
事業活動による キャッシュフロー	16,283,410円増	事業活動収入は、芸術文化事業収入が前年比で減額しているが、それ以上に事業活動支出において前年と比較し芸術文化事業の規模縮小による費用の減額、人件費の減額によるもの。
投資活動による キャッシュフロー	1,666,313円減	退職者への退職金支給による退職給付引当資産の取り崩し額と、積立額の収支によるもの。
現金及び現金同等 物の増減額	14,617,097円増	事業活動収支差額が、前年度と比較し増額したことによる。

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途
公益財団法人石巻市芸術文化振興財団補助金	4,630,000	財団業務管理費

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
石巻市文化芸術事業業務	4,999,500	文化芸術事業業務
複合文化施設管理運営業務、河北総合センター管理運営業務、多目的ふれあい交流施設管理運営業務	422,693,479	指定管理業務

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：公益財団法人石巻市芸術文化振興財団

担当部署名：教育委員会生涯学習課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

令和4年度に開館記念事業が終了したことに伴い、事業規模の縮小から芸術鑑賞事業等の総集客数が減少したことは、やむを得ない部分ではあるものの、長年培ってきたノウハウを活かし、中長期的なビジョンをもって事業に取り組むことが必要である。

また、令和5年度に注力した市民参加型事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響に起因する芸術文化活動の停滞からの呼び起こしの一助となることから、更なる展開を図ることにより利用者増加へ繋げ、今後も安定的な運営が図られていくことに期待する。

（2）主要事業の成果、課題

事業実施における総集客数については、上記の理由から目標達成できなかったが、複合文化施設全体の利用者数は昨年度と比較すると増加しており、河北総合センター及び多目的ふれあい交流施設遊楽館においても、昨年度を上回る施設利用状況であることから、指定管理者として適正な施設の管理運営、事業展開がなされており、地域の文化芸術の普及振興に寄与できていると考える。

今後も利用者の声を反映し、現在展開している事業を踏まえ、更なる市民の鑑賞・参加を呼び起こす事業をどのように展開していくかが課題である。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

流動資産の前年度比51,667,031円増は、事業経費の縮小と指定管理料精算に伴う返納分の一時的な計上によるものであり、固定資産の特定資産の前年度比3,079,218円減も退職給付引当資産の減によるものである。

また、流動負債の前年度比32,981,430円増も年度末実施事業の未払金及び指定管理料の精算に伴う返納分であり、このような特殊要因を除けば、特に大きな問題はないと考えられ、健全な経営状況と考えられる。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

経常収益は、前年度比8,853,854円減額となっているが、開館記念事業が前年度で終了したことによる14,997,600円の減額が主な要因であるが、受取利用料金が2,171,420円増額しており、各施設の利用件数が増加していることが伺える。

また、経常費用が27,038,356円減額となっているが、開館記念事業が終了に伴う事業縮小による経費縮減、職員の退職による人件費の減額が主な要因であり、少ない職員体制で事業を遂行した努力の成果である。

(3) キャッシュフロー計算書

事業活動収入は、開館記念事業が終了したことによる芸術文化事業収入が前年度比で17,230,748円減額となり、複合文化施設の利用者増加により利用料金が増額したものの、前年度比11,082,177円減額となっている。

事業活動支出は、前年度比27,365,587円減額となっているが開館記念事業が終了に伴う事業縮小による経費縮減、職員の退職による人件費の減額が主な要因であることから、特に問題はないと考える。

(4) 市による財政・金融支援等

特になし

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

当該法人には、法人設立の目的に沿った文化芸術活動の推進並びに事業展開を通じた石巻市の文化芸術及び地域社会の発展に貢献してもらうことを引き続き期待するとともに、安定的な施設運営や経営を行うための組織体制を構築し、中長期ビジョンを持ち、本市の文化芸術活動の拠点づくりの役割を担うことを期待する。